

行政視察報告書

令和8年 2月 20日

長浜市議会議長 伊藤 喜久雄 様

長浜市議会議員 竹本直隆

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和7年度会派新しい風行政視察研修
2. 視察期間 令和8年2月16日(月)～2月18日(水)
3. 視察場所及び目的
鹿児島県鹿児島市
①鹿児島市南部清掃工場
②鹿児島市立天文館図書館
鹿児島県南九州市
③知覧武家屋敷管理組合
鹿児島県指宿市
④九州電力山川発電所展示室

4. 調査内容感想等

・視察の目的

①鹿児島市南部清掃工場については、長浜市の湖北広域事務センターとの比較対象をした上で、活用できる項目、事業、制度を研修目的とした。

②鹿児島市立天文館図書館については、多様性を持ち合わせた図書館で、従来の図書館イメージを変えた画期的な取り組みを研修目的とした。

③知覧武家屋敷管理組合については、長浜市の小谷城戦国体験ミュージアム

構想に連なるヒントとなるべき事柄がないかを研修目的とした。

④九州電力山川発電所展示室については地熱を利用した発電の活用についてを目的とした。

・視察内容

鹿児島市南部清掃工場は2022年1月に稼働した、国内初の「ごみ償却・バイオガス化複合施設」として、生ゴミからバイオガス（都市ガス原料）を製造し、かつ高効率発電を行う再生可能エネルギー活用型の最新鋭施設として稼働している。特徴としては、
・国内初のバイオガス・都市ガス原料化：生ゴミを乾式メタン発酵させ、精製したメタンガスを、隣接する日本ガスの工場へ都市ガス原料として供給する。

・複合処理施設：焼却施設（日量220トン）とバイオガス化施設（日量60トン）を併設し、可燃ゴミや脱水汚泥を効率的に処理する

・公設民営方式：民間技術を活用し、設計・建設・運営までを一括してグリーンパーク鹿児島株式会社が担当している。

・高効率発電と熱利用：焼却時の熱で高効率な発電を行い、余剰電力を売電する。

鹿児島市立天文館図書館では「みんなをつなぐ図書館」として、多様なつながりや新たな価値の創造・発信を目指すをコンセプトに、親子で楽しめるワークショップや本の魅力を伝えるビブリオバトルなどを定期的で開催されている。年中無休・ドリンク持ち込みなど従来の図書館の概念を変えた取り組みなどもなされている。

武家屋敷管理組合については江戸時代の武家屋敷の伝統の保存や活用に苦慮されている部分などを詳しく聞き、維持する困難さや行政の補助の限界、さらに高齢化による後継者不足の問題など、数多くの難問に対処しなければならない課題が大きな問題となっている。

・職人不足と技術継承：伝統的な建築技法を持つ若手職人が不足していて修理が出来ない。

・空き家化と管理不全：人口減少、高齢化による維持管理が出来ない物件の増加している。

・ 現代的な生活との不一致：江戸時代の住宅と現代の住宅との適応が生活の快適性を求める現代とは合わない、また不便が伴う。

・ 厳しい規制：伝統建築地区では建物の外観を変更することや、増改築、解体に厳しい制限がかけられ、所有者の自由な活用が妨げられるケースがある。

・ 用途転用の制約：文化財的な価値を守るため。店舗や宿泊施設などへの転用が難しい場合があり、持続可能なモデルの確率が課題である。

九州電力山川発電所は地熱であたためられた蒸気を利用した再生可能エネルギーで、天候や、昼夜に限らず24時間365日案定して大電力を供給できる「ベースロード電源で、環境負荷が著しく低く、初期費用はかかるが、熱水の農業ハウス利用などに活用できるなどのメリットもある。

・ 行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

鹿児島市南部清掃工場の取り組みと湖北広域事務センターの取り組みは売電事業を開始しようとしているところは同じであるが、ガス供給はなされていない。施設の統合については1地域内での循環整備ができる長浜の方が先進的ではあると感じた。

鹿児島市立天文館図書館は規模が大きく、長浜市と比較するには無理があるが、内容的には負けてはいないと思う。カフェが隣接しており、佐賀県の武雄市と同様の仕組みがなされていた。

武家屋敷管理組合の職員さんの説明は本当に丁寧で詳しく、現状分析的確であったと感じた。観光ガイドも兼ねておられていて、説明の深さに驚かされました。何の説明もなければ、ただ歩いて通り過ぎ去って終わりだが、武家屋敷の成り立ちから、武家としての心得、誇り、主家への忠誠、建物への愛着、庭へのこだわりなど、さまざまな形がかもしだす情景は壮大なものであり、観光ガイドの必要性を強く感じた。

たくさんの課題がある現在、地域だけでは保存は難しく、国、県からの支援が必要と思われる。小谷城戦国体験ミュージアムにもこのような認識が必要と推測されるのではないか。

九州電力山川発電所は地熱を活用してのエネルギー供給は、発電事業・ガス

